

農林漁業者の挑戦を 専門家がサポート！ まずはご相談ください

支援は無料！

地域資源活用・地域連携広島県サポートセンターとは？

地域資源活用・地域連携（6次産業化も含む）に取り組む農林漁業者等の経営改善や経営全体の付加価値向上の取り組みを支援するために広島県に設置された相談窓口です。農林漁業事業者等からの相談アドバイス、研修会の実施、課題に応じた専門家（プランナー）を派遣します。

業務内容について

1. 地域資源活用・地域連携に関する相談

地域の農林水産資源を使った加工品の開発や、販路の開拓、経営について...、まずは抱えているお困り事についてサポートセンターへご相談ください。どのような支援が行えるか、企画推進員からご説明します。

下記担当まで、お気軽にご相談ください! >> ☎ 082-909-4092 / ✉ hiroshima-sc@e-scb.co.jp

2. 経営改善戦略の作成と実行支援

サポートセンターには、中小企業診断士や税理士行政書士、食品の販路開拓・ブランディングにまつわる専門家が在席しています。お困り事に合わせた専門家（地域プランナー）を派遣し、1年間かけて、その後5年間の経営改善戦略を作成します。付加価値額（経常利益+人件費+減価償却費）がアップするよう地域プランナーがアドバイスをを行います。また、翌年度まで、作成した計画を実行するため支援します。ご応募↓↓お待ちしております！

応募期限

7月25日（金）

応募方法

お申込みはこちらのQRコードから >>
または、下段お問合せ先へお問合せください。



～相談から支援までの流れ～

- ① 申込メ切…7月25日（金）
- ② 審査…サポートセンターにて事業の説明および審査を行います
- ③ 支援決定
- ④ 経営改善戦略の作成…令和8年2月中旬まで
- ⑤ 地域プランナーによる実行支援…令和9年3月末まで
- ⑥ 経営改善状況の報告…目標年度まで（3～5年）

～支援を受けるためには～

- 広島県の農林水産物や資源を活用し、6次産業化などの地域資源活用・地域連携に取り組む農林漁業者のうち、以下の要件を全て満たす必要があります。
- ・3～5年間の目標年度を設定し、経営改善戦略の作成および実行に取り組む意欲があること
 - ・支援後、目標年度まで毎年、経営状況の報告および決算書の提出が出来ること
 - ・経営改善戦略作成のため、1ヶ月に一度2～3時間、時間が確保できること

3. 人材育成研修会（オンライン同時開催）

地域資源を活かし、持続可能で収益性の高い事業を生み出すことのできる人材育成のため、研修会（全3回）を実施します。第1回は経営改善戦略の立て方、第2回は戦略実行のためのデジタル活用と農業アプリの最前線、第3回は地域資源活用の実践と販路開拓戦略について。どなたでも無料で参加できます。

詳細は裏面

お問合せ

地域資源活用・地域連携広島県サポートセンター（広島県農林水産局販売・連携推進課内）
電話：082-909-4092 ※月～金 9:00-17:00 E-mail：hiroshima-sc@e-scb.co.jp
担当：企画推進員 田形、平山、馬田

テーマ：戦略でつくる地域ビジネス “地域資源活用×デジタル×販路開拓”

地域の資源を活かし、持続可能で収益性の高い事業をつくるには、明確な経営戦略とその実行が大切です。本研修会（全3回）では、経営改善・販路開拓、商品づくり・デジタル活用の基本を地域連携の視点からわかりやすく学びます。各回は「知識を得る講義」と「事例やワークでの実践」の2部構成。学んだことをその場で体験することで、自分の事業への活用をイメージしやすく、すぐ実践に活かせるような学びを提供します。

- **対象者** _ 地域資源の活用や連携にて新たな付加価値の創造に取り組む県内農業者等
- **受講料** _ 無 料（会場までの交通費および駐車場料金は自己負担）
- **会 場** _ 広島県総合体育館 グリーンアリーナ小会議室（広島市中区基町 4-1）

<開催日時とテーマ>

第1回：7月14日（月）13:00 - 16:00

テーマ：経営改善戦略の立て方 ～理念から計画までの筋道～

講師：(株)オフィス総合研究所 代表取締役 西原 州康氏（第1・2部）

みずば農園 代表 水場 大輔氏・(株)F Continues 代表取締役 馬田 英俊氏（第2部）

第1部_ 「なぜ経営戦略が必要なのか？」

第2部_ ワーク&事例紹介（座談会）～地域資源を活かす事業にこそ“戦略”が必要～

・ワーク「自社の強み・課題を言語化する」

・座談会「経営戦略を描く、その実践と成果 - みずば農園の取り組み」



[みずば農園 水場様]

第2回：10月22日（木）13:00 - 16:00

テーマ：戦略を実行するためのデジタル活用と農業アプリの最前線

講師：(株)オフィス総合研究所 代表取締役 西原 州康氏（第1部）

ウォーターセル(株) 執行役員 藤原 拓真氏（第2部）

第1部_ 「戦略的に使うデジタル」～業務改善・商品開発・情報発信～

第2部_ 営農支援アプリ“アグリノート”ではじめる農業データの利活用と経営改善



[ウォーターセル(株) 藤原様]

第3回：11月13日（木）13:00 - 16:00

テーマ：地域資源活用の実践と販路開拓戦略 ～ブランドをつくり 売る～

講師：(株)F Continues 代表取締役 馬田 英俊氏（第1部・2部）

(株)うめひかり/梅ボーイズ（第2部）

第1部_ 「地域連携による販路開拓とブランド構築」

第2部_ 「若手農業者が“梅”でつくったブランド戦略と地域との連携」



[梅ボーイズ様] ※同社HPより



◀ 西原 州康さま 経歴

IT機器販売会社を経営しつつ、2002年に中小企業診断士資格を取得し、中小企業のコンサルティングに取り組む。2013年より広島県の依頼で農業支援に取り組み、主に農業者への経営計画策定支援を行っている。農山漁村発イノベーションデジタル推進員として電子化支援等の取組実績を持つ。



◀ 馬田 英俊さま 経歴

青果市場・地域商社にて20年以上にわたり、国内および海外向けの食品の販路開拓・商品企画・ブランディング・輸出に加え、直接仕入れ・販売まで幅広い実務経験を有する。首都圏百貨店・高質スーパー・セレクトショップから県内スーパーマーケット、海外まで販路開拓の実績を持つ。

※本研修の会場および内容は、状況に応じて変更する場合がございますのでご了承ください。

申込期限

7月10日（木）

参加申込方法

お申込みはこちらのQRコードから >>
または、表面のお問合せ先へお問合せください。



※各回、会場・オンライン、ご都合に合わせてお申込みいただけます。